

# 株式会社 千葉ショッピングセンター

## 1 団体概要

設立年月日	昭和36年11月1日	資本金	50,000 千円	(うち市)	20,000 千円	40.0%
設立目的	旧千葉駅の移転に伴い、駅周辺商店街の優先的出店を促すなど地元商業の振興に重点を置き、千葉市中心部の活性化に寄与することを目的としている。					
所在地	千葉市中央区本千葉町15番1号					
代表者	代表取締役社長 森 雅彦					
所管課	経済農政局経済部産業支援課					

## 2 組織状況 (令和6年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	4 (3)	4	8 (3)
うち市OB	2 (1)	0	2 (1)
うち市派遣	0		
職員	5		
うちプロパー	0		
うち市OB	4		
うち市派遣	0		
計	9		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧書きで記載している。

## 3 財務状況 (単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度
営業利益	194,180,108	159,195,612	181,082,371
経常利益	213,416,728	162,265,879	184,468,969
税引前当期純利益	211,342,068	161,666,400	184,278,608
当期純利益	138,688,897	109,827,073	121,268,124
総資産(A)	3,518,300,602	3,568,904,456	3,731,097,671
負債(B)	723,775,528	672,052,309	717,977,400
純資産(A-B)	2,794,525,074	2,896,852,147	3,013,120,271
市補助金	0	0	0
市委託料	0	0	0

職員平均年齢	64.0 歳	職員平均給与(年額)	4,780,402 円	役員平均報酬等額(年額)	9,515,830 円
--------	--------	------------	-------------	--------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

※常勤役員についての平均

## 4 実施事業 (単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	市支出額	
				市支出額	依存率
ショッピングセンター事業	自主	千葉ショッピングセンターの管理運営	647,499,806	0	0.0

※R5年度決算額

指定管理者として管理する公の施設	なし
------------------	----

情報公開	HPアドレス	www.chibasc.co.jp
	公開情報	<input type="checkbox"/> 定款・寄付行為 <input type="checkbox"/> 役員名簿 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 経営改善計画

## 5 評価指標(共通指標) (単位:%)

	評価指標	R3年度	R4年度	R5年度
自立性	補助金依存率	0.0	0.0	0.0
	受託事業収入率	0.0	0.0	0.0
	自主事業比率	100.0	100.0	100.0
効率性	人件費比率	12.6	12.5	13.1
	販管費比率	100.0	99.9	100.0
安全性	自己資本比率	79.4	81.2	80.8
	流動比率	1126.4	1589.8	1487.7
	固定長期適合率	51.7	48.3	42.0

## 6 外郭団体による評価

総合評価	<p>令和5年度は、コロナ禍による退店で生じていた空き区画に5店舗を誘致したところであり、退店はなく、総店舗数は64となった。経済環境の好転によりテナントの売上げや来街者数についても、ほぼコロナ禍前まで回復してきている。</p> <p>また、経年劣化に伴う施設設備の交換・補修等を行ったほか、地域貢献活動として、引き続き千葉駅周辺の大型店との千葉えきまつりの共催、障害者の自立支援活動へのスペース提供に加えて、新たに産学官連携の取組として千葉大学に農産物の販売場所を提供した。</p> <p>この結果、売上高は、店舗数の増加等により前年度比101.5%の増収となった。また、最終の当期純利益も、ショッピングセンター開業60周年記念事業費などを支出したものの、施設補修費が減少したため、前年度比110.4%の増益となった。</p>
今後の方針	<p>令和6年度は、依然として今後の景気回復が不透明な状況の中、テナントの退店を防止するため、引き続き支援が必要である。施設についても老朽化及び修繕を要する諸設備がある。また、火災や地震等が発生した際に被害を最小限にとどめる対策が求められる。そのほか、コロナ禍から復活してきたイベント等を支援し、地域貢献に努めていく必要がある。</p> <p>このような認識の下、本市中心部の商業の振興と活性化に寄与する地域密着の商業施設としてさらなる魅力の向上を目指し、引き続き「営業活動」「施設整備等」「安全対策」「地域貢献活動」の4つの事業に取り組んでいく。</p>

## 7 所管局による評価

総合評価	<p>コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む一方、未だ円安や物価高騰など、依然として経済状況は厳しさが残る中、基幹事業であるテナント確保において、退店なく、5店舗の誘致を行ったことに加え、それに伴うテナント売上げや来街者数の水準回復への貢献について評価したい。</p> <p>また、新たに産学官連携の取組みとして千葉大学に農産物の販売スペースを設けるなど、本市の外郭団体として地域貢献活動にも積極的に取り組んでいただいた。</p>
今後の方針	<p>令和6年度は、今後の景気回復や経済動向を見据えながら、千葉ショッピングセンター商店街振興組合等と連携し、テナントへの事業継続支援を行うことで、退店の防止や新たなテナント誘致を行うとともに、近隣の商業施設との連携事業など、貴社の強みを活かした積極的な事業展開を行っていただきたい。</p>